



いのち 生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり

新年

あけまして
おめでとう
おめでとうございます



市報 **んなん**

「平和を」の都市宣言のまち 雲南市

2007

1

No.26

- 2-3 年頭所感 雲南市長・市議会議長 新年のご挨拶
- 4-5 平成18年を振り返って 雲南市のおもなできごと
- 6-9 ~自立のための強い足腰づくりに向けて~雲南市の財政状況と行財政改革の取り組み
- 10-11 平成17年度雲南市決算報告
- 12-16 雲南NEWS ほか
- 17 わがまちの戦隊
- 18-19 教育コーディネーター通信 ほか
- 20-21 ふるさとウォッチング ほか
- 22-28 雲南市からのお知らせ



いのち
生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり

雲南市長・雲南市議会議長 新年のごあいさつ

「雲南市の魅力、市民の総力を結集して臨む」

雲南市長 速水雄一



新年あけましておめでとございます。
市民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこと、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年は、中国横断自動車道 尾道松江線と尾原ダム 本体工事の起工式が執り行われ、それぞれ順調に事業が進捗しているほか、身体教育医学研究所うんなんのオープンにより、生涯現役で過ごせるまちづくりの実現にも努めてまいりましたところであります。

また、多くの市民の皆様も口々に加わった「うんなん？」がクランクインし、この雲南市を舞台にした映画は、今秋、完成予定であり、歴史、伝統そして文化等、広く地域の魅力をPRできるとともに、地域活性化の起爆剤に繋がることと期待しております。

また、国政では「美しい国、日本」を掲げ、安倍政権が誕生し、引き続き、財政健全化に向け歳入・歳出一体改革が実施されるとともに、国の平成19年度予算編成方針では、地方分権改革推進法による行政のさらなるスリム化・効率化を進めるとされています。

新しい年を迎え、これらの改革が、地域の実情・地方の声が反映され、真の地方分権に繋がるよう、島根県・市長会等とも連携し、国に対し継続して働

きかけてまいります。

これまで、雲南市におきましては、あるべき行政運営を求め、雲南市政改革大綱及び集中改革プランに基づき、抜本的な見直しや、揺ぎ無い改革を断行しており、今は、我慢すべきは我慢する「忍耐」の時であり、明日の雲南市が花を咲かせることができるよう、厳しい「選択」により、やるべきことをやることも大切であると考えております。

まちは人を育て、人はまちを育てます。市長就任以来掲げてきております「徹底した情報開示」、「健全財政の早期確立」、「地域の一体化」の3つの基本方針につきましては、引き続き不転換の決意で取り組むとともに、職員の仕事遂行にあたっては、「接遇の向上」、「迅速・決断・実行・報告の徹底」、「迅速・正確・親切・丁寧な事務処理」、「積極的な情報の入手」の4つの実践のさらなる徹底を図っていく所存であります。

さらに、今年「いのちと神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」を基本理念に掲げる「雲南市総合計画」のスタートの年であります。

雲南市の魅力を引き出すことのできるまちづくり、市民の皆様が結集するまちづくりに傾注する所存でございますので、市民の皆様の一層のご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸を祈念いたしまして年頭のごあいさついたします。

「次の世代に伝えたいことを」



明けましておめでとございます。
市民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また皆様には日頃から市政に対する温かいご理解と絶大なご協力をいただき厚く御礼申し上げます。昨年を振り返ってみますと北朝鮮による核実験の強行、イラク戦争の長期化など国際平和を脅かす多くの問題が発生しています。

国内においてもいじめによる自殺者の増加など教育現場での様々な問題が発生する中、安倍政権が押し進める教育基本法の改正は数々の議論を醸し出しました。

人類すべてに共通する「平和」と「愛」を今こそ「平和を」の都市宣言を行った雲南市から「如己愛人」の精神で世界に発信、アピールしていきたいと思っております。

政府は「いざなぎ景気」を超える好景気が続いていると発表していますが、地方にとつては依然として景気回復の実感がない状況であります。

雲南市では、17年4月に「財政非常事態宣言」を発して以来、事務事業の見直しや公共施設の整理等様々な行政改革に向けての取り組みがなされてきました。

市議会としても市民の立場に立つた行政改革を提言すべく、昨年9月定例会において行政改革調査特別委員会を設置し、精力的に調査、研究を行い、

雲南市議会議長 吾郷 廣幸

12月定例会で中間報告を行ったところであります。行政は、過去を真摯に反省し、将来を見据え自治体としての経営理念を導入しながら目的や住民との責任領域を明確にするための公正・公平かつ透明性のあるしかも効率的な責任ある仕事を実践することに尽きると思っております。

「石の上にも3年」と言いますが、3年すると様々なことが見えてくるものです。今年こそ雲南市政改革元年と位置づけ市民、議会、行政が一体となつて同じ視点で物を見て感じ考えながら、一つずつ行動に移していきたいと思っております。

合併以来、「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」を基本理念としてまちづくりを進める雲南市には、それぞれ受け継ぎ次の世代へ伝えるべきものがたくさんあります。伝えるべきものがたくさんあるということは地域の文化が豊かな証です。「温故知新」のごとく、今こそ雲南市の自然、伝統、文化、風習などふるさとの良さを再認識し、親から子へそして孫へと日常生活の中で大切に伝え、新しい文化を創り出すために、市民の総力を結集していかなければなりません。

雲南市議会は昨年11月、任期の後半を迎えるに当たり構成替えを行ったところであります。全議員が気持ち新たに、より豊かで住みよいまちづくりを目指してさらに創意工夫を重ね、市民の皆様方のご期待に応えるよう邁進していく所存でありますので、どうか本年も相変わらぬご支援・ご協力をいただきますよう心からお願ひ申し上げます。新年のご挨拶いたします。



いのち 生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり

2006年 平成18年

5つの将来像別にみる 雲南市のおもなできごと

市民が主役の自治のまち

快適生活のための機能と自然あふれる生活空間が共生するまち

誰もが健やかに安心して暮らすまち

平成18年は、わたしの年でした。覚えてますか？



市民と行政の協働による「雲南市総合計画」「雲南市行財政改革大綱」を策定

総合計画は、平成17年6月から、まちづくり会議で議論を重ねてこられた市民案を基に作成しており、4月からは、この計画に基づき各種施策がスタートします。また、雲南市の行財政改革推進の指針となる雲南市行財政改革大綱と、それにに基づく「集中改革プラン」を策定し、引き続き各種行財政改革に取り組んでいきます。



中国横断自動車道尾道松江線起工式・尾原ダム起工式

三刀屋木次インターチェンジから(仮称)吉田掛合インターチェンジを経由し、広島県境までの区間の起工式が行われました。また、平成22年度末の完成をめざしている尾原ダムの本体工事に着手されました。

島根県消防操法大会でアベック優勝

8月6日の第50回の島根県消防操法大会で雲南市消防団がポンプ車・小型ポンプの部とともに優勝という快挙を成し遂げました。



身体教育医学研究所うんなん開所

市民が生涯現役で過ごすことのできるまちづくりをすすめるため「身体教育医学研究所うんなん」がオープンし、転倒予防教室や子どもたちの健康学習、地域運動指導員の養成、生活習慣病対策に向けた研究調査など健康づくり運動を展開しています。



ふるさとを愛し豊かな心を育む教育と文化のまち



ふるさと教育に対応した地域の体制づくりと教育施設の整備すすむ

学校と家庭・地域との学社連携・融合を一層推進するため「教育支援コーディネーター」を市内中学校へ配置しました。また、雲南市立海潮幼稚園・加茂図書館を竣工したほか、11月には掛合統合小学校起工式が行われました。

多様な地域資源を活かした産業が発展するまち



ふるさと舞台の映画「うん、何？」市内ロケ

錦織良成監督の手がける「うん、何？～やまたのおろち伝説～」が8月にクランクイン。映画を支援する「雲南映像プロジェクト実行委員会」も立ち上がりしました。

平成18年の記録



記録的な豪雪と豪雨で甚大な被害

吉田町民谷地区で170cmの積雪を記録するなど記録的な降雪に見舞われ、この雪の影響で損壊する家屋も出るなど市内各地で豪雪被害が出ました。また、7月の記録的な降雨により発生した「平成18年7月豪雨」は、冠水や浸水、土砂崩れなど市内各地に多くの爪跡を残しました。

平成19年はよろしくね!



雲南市へ多くの企業が進出

平成18年中に、雲南市産業振興条例に基づき立地計画認定書が交付された企業は、(株)日進産業、フレッシュフーズ山陰(株)、(株)ホテルシステムズ、(株)丸八ポンプ製作所、ウチヤマコーポレーション(株)、設備増設として、日本コルマー(株)、島根イーグル(株)で、雲南市での認定企業数は8社になりました。



雲南市企業立地計画認定書交付式

島根に生まれ、島根に育ち、やがて島根の土になる

5月には、ふるさとの偉大な先人・故竹下登氏の偉業を偲ぶ、竹下登記念館と銅像が完成し、多くの著名人が見守る中、落成式と除幕式が執り行われました。



- 中国横断自動車道尾道松江線(三刀屋木次IC)起工式(28日)
- 海潮温泉の新泉源からの供給開始(1日)
- 平成18年度斐伊川水防演習(3日)
- 新越戸水道施設完成(23日)
- 尾原ダム本体工事に着手(27日)
- 雲南市総合計画・まちづくり市民案提出(28日)
- 雲南市観光協会設立(28日)
- 映画「うん、何？」雲南映像プロジェクト実行委員会設立(1日)
- 18日から市内各地でロケ
- 第58回島根県消防大会(5日)
- 第50回島根県消防操法大会(6日)
- リッチモンドサマースクール(8日)
- 加茂岩倉ガイダンス来館者3万人達成(10日)
- 雲南市成人式(14日)
- 山田川改修工事竣工(25日)
- 第16回永井隆平和賞発表式典開催(10日)
- 雲南市総合計画策定(22日)
- 雲南市戦没者追悼式(29日)
- 木次線開業90周年記念式典(7日)
- 雲南市水道事業総合計画の答申(17日)
- 企業立地計画認定書交付式(株)ホテルシステムズ、(株)丸八ポンプ製作所、ウチヤマコーポレーション(株)、島根イーグル(株)(18日)
- 11月16日 掛合統合小学校起工式(19日)
- 12月 県道玉湯吾妻山線開通式(24日)
- 雲南市国民保護協議会(4日)

平成18年の主な出来事

- 平成18年豪雪(記録的な大雪により市内でも甚大な被害。県内各地の積雪最大値を更新)
- 雲南市消防出初式(8日)
- 雲南市で電子申請サービス開始(12日)
- 雲南市健康福祉のまちづくりフォーラム開催(10日)
- 雲南市総合計画策定に向けまちづくりフォーラム開催(19日)
- 尾原ダム地域づくり活性化研究会開催(28日)
- 行財政改革大綱素案答申(1日)
- 策定(27日)
- 全国和牛能力共進会に向け雲南市出品対策協議会設立(3日)
- 雲南市立海潮幼稚園竣工(21日)
- 加茂図書館竣工(26日)
- 掛合保育所波多分園開所式(26日)
- 4月 大東町丸子山公園リニューアルオープン
- 市内各中学校へ教育支援コーディネーターを配置
- 活動的な85歳をめざして地域包括支援センター設置
- 身体教育医学研究所うんなん開所式(3日)
- 雲南市国際交流協会設立(22日)
- 企業立地計画認定書交付式(株)日進産業、フレッシュフーズ山陰(株)、日本コルマー(株)(25日)
- 地域委員会全体会(28日)
- 5月 平成18年度市政懇談会開催(5月9日)
- 8月24日 宇谷・大原第2農免農道開通(18日)
- 平成17年度地域振興補助金活用事業報告会(27日)
- 竹下登記念館落成式・銅像除幕式(27日)



生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり

自立のための強い足腰づくりに向けて

雲南市の財政状況と行財政改革の取り組み

シリーズ①



平成16年11月に雲南市が誕生してから2年あまりが経過しました。

この間、雲南市の一体化と「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」の実現をめざしたまちづくりを推進するため、簡素で効率的な行財政運営に向けた各種事業の見直しや組織の見直しなどを進めてきました。

しかし、市の財政は国の三位一体改革の影響や公債費の増加などにより、ますます厳しさを増しています。この状況を克服していくとともに、これからの低成長経済・少子高齢化社会において、市民の皆さんにとって本当に必要な行政サービスを提供できる足腰の強い行財政の仕組みづくりが必要です。市では、その基本的な考え方を市民参加を得て「**雲南市政改大綱**」としてまとめ、この大綱に基づき全庁を挙げて取り組んでいます。

このコーナーでは、雲南市の財政状況と行財政改革の取組みについて紹介します。

財政非常事態を引き起こした原因

地方交付税

合併して間もない平成17年4月、雲南市は**財政非常事態**を宣言しました。平成17年度予算編成において、収支の不足から23億円もの基金取り崩しを余儀なくされ、このままでは、平成19年には貯金である基金を使い果たし、赤字の発生が予想されたことによるものでした。市民の皆さんからは「**合併したばかりなのに、なぜ?**」という声をたくさんいただきました。まずその原因について述べたいと思います。

「**官から民へ**」と民間の活力を最大限発揮できるように規制緩和し、また「**国から地方へ**」と権限と財源を移譲し、地方の多様性と活力を発揮できるように行政のしくみの改革が進められています。この

「国から地方へ」と権限を移譲するのが**地方分権**で、財源を移譲するための国と地方の間での財源配分の改革が、いわゆる**三位一体改革**です。しかし、その三位一体改革では国の財政建て直しが優先され、国から地方への負担転嫁と地方交付税の削減という結果に終わり、本来の改革の理想とは程遠いものになりました。そのため、地方自治体の行財政運営に非常に大きな影響を与えています。

日本全国には、自然環境や社会環境の異なる多様な自治体が存在します。地域的に経済活動が活発に行われているところもある一方で、ほとんど産業らしい産業もなく過疎に悩んでいる地域もあります。そうした経済活動の違いなど

により、それぞれの自治体に入ってくる税収にはかなりの格差があり、税源の偏在という問題があります。税収の少ない自治体において、自らの財源を自ら賄うのが原則であるからといって、すべて住民負担で賄うとしたら、小規模な町村では都市部の数倍、数十倍もの税の支払いを強いられることになってしまいます。

地方交付税は、こうした地域間の税源の不均衡を調整し、すべての自治体が一定水準の行政サービスを提供できるようにするために、国税の一定割合が交付される制度で、使道の制限がなく自由に使えるお金です。国のお金をもらっているというイメージがありますが、地方交付税は、**地方固有の財源**とされています。

合理的な手法として、国が一旦国税として徴収し、ルールに基づいて地方自治体に再配分しているのですが、その再配分において、以前から国の政策的意図が大きく反映されてきました。詳しくは後から述べますが、そのことにより制度が複雑化するとともに、歪が生じてきました。

雲南市では、地方交付税が

歳入の約46%を占め、まさに市政運営の命綱と言えます。この地方交付税が、平成16年度に国全体で2兆9千億円削減されたことにより、全国の

財政非常事態を引き起こした原因

公債費

地方交付税のほかに、市の財政を圧迫しているもう一つの大きな要因が**公債費**です。市が道路や学校、上下水道などの公共施設をつくる際には多額の建設費が必要になるため、県知事の許可を得て、国や民間の金融機関から資金を借りて財源に充てます。ほとんどが十数年をかけて返済しますので、一時的に多額な負担をしないで済む利点があります。この**借金(地方債)の償還金**のことを公債費と言います。

過疎地域に指定された市町村が、計画に基づいて借り入れた地方債(過疎債)を償還する場合、償還金の70%が地方交付税で戻ってきます。これは様々な条件において不利な過疎地域の振興を図ることを目的としたものであり、実質、借金の30%だけ返済す



ばいいというたいへん有利なものであることから、過疎市町村ではこれまで積極的に活用されてきました。また、バブル経済崩壊後の平成5年頃から数年間、度重なる国の景気対策により日本

全国でたくさん公共事業が推し進められました。国は全国の地方自治体に対し、「と

平成21年度をピークに推移する見込みです。今後、地方債発行を抑制し公債費を減らさなければならぬのは当然のことです。ただ、現在の雲南市の公債費の増加は、合併前の旧町村がそれぞれ一生懸命にまちづくりのために生活基盤整備を進めた結果であり、これにより都市部と違いすべての公共サービスを行政が担っているこの地域において、現在の私たちの生活水準が確保されていることもまた事実なのです。

このように、国が地方交付税で地方自治体の借金返済を保障したことにより、地方交付税の総額は増え続け、財源となる国税収入が不景気で伸びない中、需要と供給のバランスが崩れることになりました。

近年、国やマスコミは特に地方債の残高や公債費を大きく取り上げ、地方自治体の財政運営の責任ばかりが指摘されています。しかし、雲南市をはじめ全国の地方自治体の財政状況が悪化するに至った理由には、これまで述べてきたような背景があり、そこには国策を上手に実施するためには地方固有の財源である地方交付税を利用した国と、地域振興のためにそれに追いつけるを得なかつた地方自治体の姿があつたことを理解していただきたいと思います。

市の財政状況 ～課題点～

雲南市の平成18年度一般会計当初予算額は約280億円です。県内で人口規模が最も近い安来市の約213億円よりも67億円も多くなっています。予算規模が大きくても、歳出に見合っただけの歳入があればよいのですが、そうならないところの問題があります。

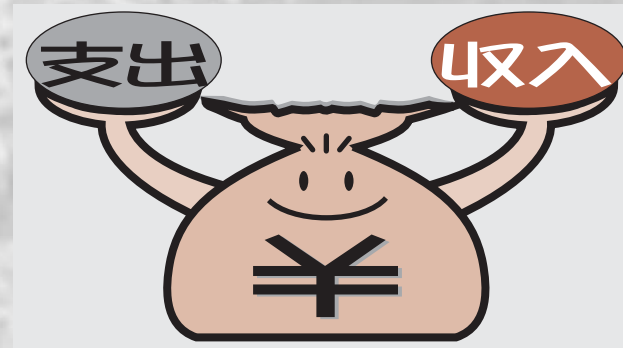
雲南市の場合、収入よりも支出が10数億円多いという**構造的な収支不足の状態**にあるため、毎年、基金を取り崩して不足分を埋めています。もし、この状況が今後も続いていったとすると、現在約61億円ある基金が5年後には底をつき、財政赤字の発生は避けられない状況です。

それでは、なぜ収支不足に陥ったのでしょうか。先ほど述べた公債費の増加もその大きな原因のひとつですが、見直しが行われる以前の地方交付税が、合併前の6町村のうちに、都市部と比べて社会的条件の劣る小規模自治体に対し手厚く交付されていたことにもよります。6町村は、その手厚い交付税を財源として独自のまちづくりを進め、学

雲南市行財政改革大綱に基づく集中改革プラン（概要）

（平成18年3月策定）

重点項目	取組事項	実施年度				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
1. 事務事業の再編・整理	行政評価制度の導入	・点検評価の試行	・制度の検討、導入準備	・導入		
	補助金の見直し		・交付基準、制度の検討	・実施		
2. 民間委託の推進	公の施設管理の見直し	・公の施設改革推進方針の策定 ・管理の方向性検討、公表 ・指定管理者制度に係る運用指針の策定	・指定管理者制度の導入(60施設)			・新料金設定
	その他の事務		・使用料、減免規定の見直し検討	・減免基準統一		
			・民間委託基準の策定			
3. 定員管理、人件費の抑制	定員管理	・定員管理計画の策定 職員数635人(H17.4.1)				【目標】 ・H22.4.1職員数584人(51人、8.03%減)
	給与等件費の抑制	・給料月額 市長▲10%～▲20% 助役▲10%～▲15% 教育長▲10%～▲13% 一般職▲5% ・管理職手当▲50% ・寒冷地手当の廃止 ・期末勤勉手当▲10%	・給料月額 市長▲20% 助役▲15% 教育長▲13% 一般職 平均▲5% ・管理職手当算出基礎額 平均▲5% ・期末勤勉手当 一律▲10%	・人件費総額の抑制		
4. 権限委譲	県の「移譲計画」の検討		・移譲項目、受け入れ態勢の検討			
5. 組織機構の見直し	部・課・室・出先機関の再編、統合	・組織機構見直し方針の策定	・部局、課室の再編と統合 ・グループ制、フラット化の推進			
6. 第三セクター等の見直し	既存法人の見直し	・経営診断の実施 ・第三セクター事業等マネジメント基本方針の策定	・指定管理者制度導入に伴う事業の再編 ・組織の見直し(統廃合、民営化等)			
7. 財政運営の見直し	計画的な財政運営	・中期財政計画に基づく計画的な財政運営				
	公債費負担の抑制 ・H16起債制限比率13.5% ・H16末地方債残高566億円	・公債費負担適正化計画の策定	・公債費負担適正化計画に基づく新たな起債の抑制と計画的な基金積み立て			【目標】 ・起債制限比率16.2%以下 ・地方債残高479億円以下
	予算編成方式の見直し ・H16普通会計規模339億円	・枠配分予算編成方式の導入(H18予算編成から)	・義務的経費及び投資的経費を除き、前年比90%配分 ・枠配分予算編成方式の検証、仕組みの確立			【目標】 ・普通会計規模250億円以下
	不均一課税の解消 固定資産税率 法人市民税率		・検討	・統一		
8. 公営企業関係	定員管理、給与の抑制	・市の組織体制、職員に準じて実施				
	水道使用料の統一	・水道事業に関する審議会を設置し、検討	・検討	・統一		
	下水道使用料の統一	・下水道使用料審議会を設置	・検討	・統一		



校や社会福祉施設、集会施設、体育施設、文化・観光施設などの公共施設がそれぞれの町村ごとに設置され、また、地域振興や産業振興のための事業もそれぞれの町村ごとに行われていました。合併によりそれらはすべてそのまま雲南市に引き継がれましたが、その財源であった地方交付税だけが見直しにより減らされてしまいました。これが、合併後の雲南市が収支不足に陥った理由です。したがって、支出を見直し、収入額に見合った額まで減額して収支のバラ

行財政改革への取り組み

雲南市では、平成18年3月に市民・学識経験者の皆さんで組織される雲南市行財政改革推進会議からの答申を受け、今後の行財政改革推進の指針となる「**雲南市行財政改革大綱**」と向こう5年間の具体的な取組みをまとめた「**集中改革プラン**」を策定しました。それに基づいて、平成17年度以降、合併後10年間で150人余の職員削減を目標とした定員管理計画の実行や職員給与カットの実施により人件費を抑制するとともに、庁舎管理費や事務費をはじめとした物件費の削減を行うなど、徹底した内部管理経費の削減を進めています。

また、今後の地方交付税の減額や職員の減員などから、これまでのような行政のみに

算定されます。旧6町村分と雲南市一本分では、25億円から30億円程度の差があるものと見込まれ、将来的にその額だけ地方交付税が減ることになります。これにどのように対応していくかが今後の財政運営における最大の課題です。

雲南市の将来のために

行財政改革の目的は、総合計画に基づくまちづくりを実現するための手段として、将来に向けて持続可能な市政運営を確立することにあります。しかし、これは行政だけでは達成することは不可能で、市

民の皆さんの協力があってこそ成し得るものです。見直しや改革は、時として大きな混乱をもたらすこともあります。「行財政改革は、市民に負担を押し付けるもの」あるいは「補助金がなくなっ

もに、市民サービスを維持する手法として外部委託を推進する上での基本的な考え方を明らかにし、それに基づいた取組みを進めていきたいと考えています。

また、**市の補助金制度について**、事業内容や透明性の視点などからの見直しを進めるほか、合併前のままになって**いる公の施設の使用料について**、受益者負担の適正化や使用料算定ルールの確立、類似施設間の調整を図る必要があります。今後、実態調査を行い、平成21年度からの新料金スタートをめざして見直し作業を進め、市民の皆さんへの周知を図っていく予定です。**施設使用料の減免基準については**、公平性を確保する必要がありますので、平成19年4月からの統一をめざして検討を進めています。

民の皆さんの協力があってこそ成し得るものです。見直しや改革は、時として大きな混乱をもたらすこともあります。「行財政改革は、市民に負担を押し付けるもの」あるいは「補助金がなくなっ

たら困る」という意見もあります。しかし、今ここで改革への取り組みを怠れば、収支不均衡による赤字が発生し、財政再建団体への転落は避けられません。

そうなること、国の監視下に置かれ、保育料や水道料金、施設使用料などは最高水準まで値上げとなり、補助金はカット、生活基盤整備はストップするなど、住民負担が増すばかりでなく行政サービスも著しく低下し、いわば「自治の放棄」という状態に陥ります。それこそ、市民の皆さんにたいへんな犠牲を押し付けることになるのです。

今、我慢すべきは我慢し、明日の雲南市が花を咲かせることができるよう、将来を見据えて取組むことが必要です。限られた行政資源の中で、納税者である市民の皆さんに対し、真に必要なサービスを最小の経費で最大の効果をもって提供できるよう、行財政改革に取組んでいきますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

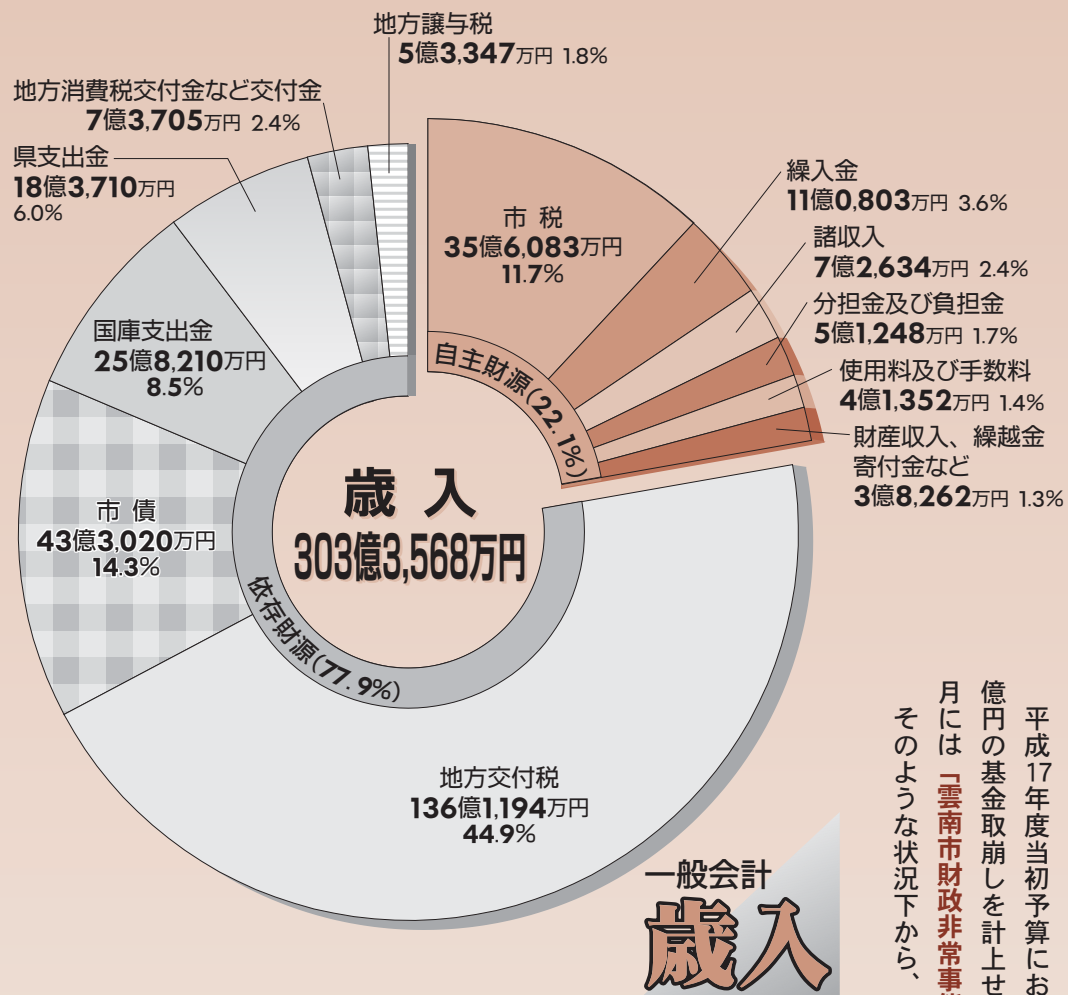
次号では引き続き、平成19年度予算編成方針についてお知らせします。

雲南市決算報告

合併後初めて年間予算の執行となった平成17年度雲南市一般会計や特別会計の決算が、11月27日開催の平成18年第4回雲南市議会臨時会において承認されました。

平成17年度当初予算においては、収支不足から23億円の基金取崩しを計上せざるを得ず、平成17年4月には「雲南市財政非常事態宣言」を発しています。そのような状況下から、平成17年度は「雲南市行

財政改革大綱」を定め、その実行計画「集中改革プラン」により、①職員等の定員管理計画の策定、②人件費の抑制、③組織機構見直し方針の策定、④公の施設改革推進方針の策定、⑤指定管理者制度に係る運用方針の策定、⑥第三セクター事業等マネジメント基本方針の策定、⑦公債費負担適正化計画の策定、⑧枠配分予算編成方式の導入などを実施し、行財政改革に取り組んできました。

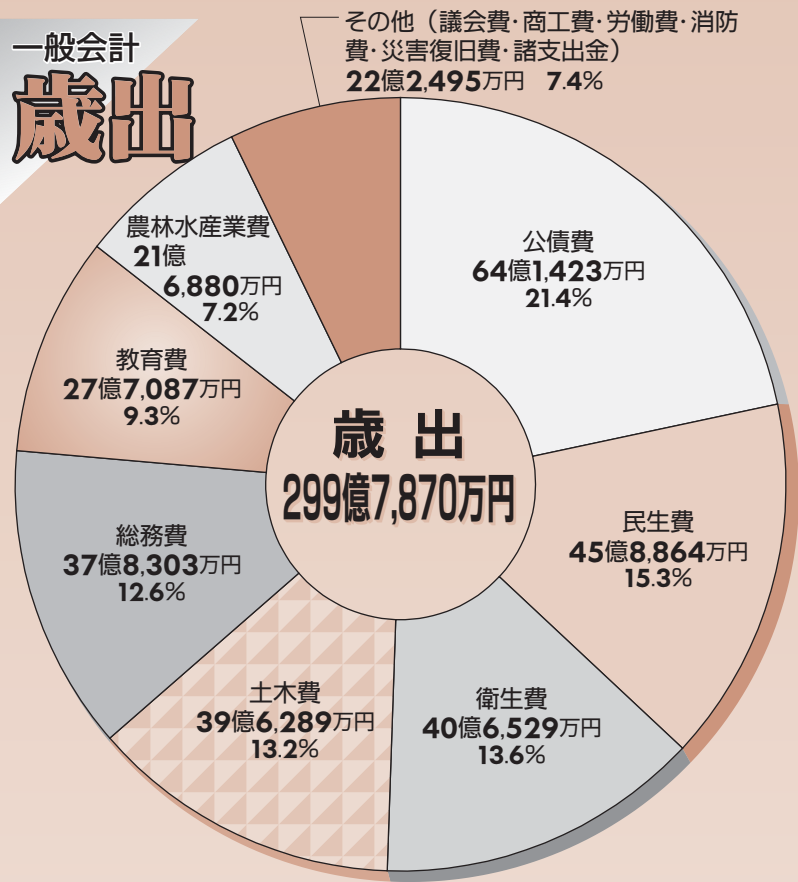


一般会計
歳入決算が303億3,568万円(対前年度19.8%減)、歳出決算が299億7,870万円(対前年度20.1%減)で、歳入歳出差引残額が3億5,698万円となりました。(平成18年度へ繰り越すべき財源2、918万を差し引いた実質収支は3億2,780万円となりました。)

また、経常収支比率が96.6%(対前年度比3.1%増)、起債制限比率が14.1%(対前年度比0.6%増)、地方債現在高比率が33.1.3%(対前年度比29.5ポイント減)となりました。(前年度は旧6町村決算額+雲南市決算額)

歳入
市税(市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・入湯税)の歳入決算総額に占める割合は11.7%(その主な構成は、市民税38.9%、固定資産税52.9%)でした。また、市債(市の借入金)の占める割合は14.3%となり、市の財政力に応じて国から交付される地方交付税や国、県から入ってくる補助金などの依存財源は、77.9%を占めました。

歳出
歳出決算総額に占める割合で見ると、公債費(地方債や一時借入金の利息などの償還金)が21.4%、次いで民生費(社会福祉に関する経費)が全体の15.3%、衛生費(保健や医療、ごみ処理に係る事業費など)が13.6%をそれぞれ占めました。



- 1 経常収支比率とは、毎年経常的に支払わなければならない経費の状況から、財政運営の弾力性を測定する指標で、低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、高ければ高いほど財政運営が硬直化している状況を表わしています。
- 2 起債制限比率とは、公債費のうち交付税措置があるものを除いた正味の公債費を表わし、この比率が高くなるほど、財政構造が硬直化している状況となります。
- 3 地方債現在高比率とは、財政規模に対する地方債(長期にわたり返済する借金)の残高を表したもので、低いほど財政運営が安定しています。

特別会計
一般会計と区別して処理する会計として13の特別会計があり、その決算は単純合計で歳入総額152億1,378万円(対前年度比3.3%増)、歳出総額151億4,434万円(対前年度比4.1%増)で、歳入歳出差引額は6,944万円、平成18年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は4,019万円となりました。

平成17年度に実施した主な事業

介護保険事業(介護保険事業負担金)
.....5億6,527万円
知的障害者施設訓練等支援費4億0,292万円
水道事業特別会計補助金4億3,370万円
中山間地域等直接支払制度交付金 3億5,070万円
交付金道路整備事業6億4,144万円
起債道路改良事業5億0,321万円
まちづくり総合支援事業6億9,476万円



まちづくり交付金事業4億1,042万円
学校給食センター運営事業3億9,557万円
海潮幼稚園建設事業2億2,236万円
など



【普通会計性質別歳出内訳ほか】

項目	決算額(万円)	増減率(%)
人件費	50億3,632万円	△ 6.8
公債費	63億0,045万円	16.0
物件費	34億3,733万円	△ 8.2
補助費等	43億8,510万円	△ 8.6
普通建設事業費	55億7,560万円	△ 42.1
その他	57億2,975万円	△ 33.7
合計	304億6,455万円	△ 19.1
基金残高	65億9,197万円	△ 10.2
地方債残高	556億4,305万円	△ 1.8

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額
一般会計	303億3,568万円	299億7,870万円	3億5,698万円
普通会計			
農業労働災害共済事業	709万円	701万円	8万円
ゆとりの里事業	6,086万円	5,686万円	400万円
土地区画整理事業	7億5,938万円	7億5,502万円	436万円
ダム対策事業	3,315万円	3,297万円	18万円
発電所事業	3,085万円	1,235万円	1,850万円
国民健康保険事業(事業勘定)	36億5,591万円	35億9,211万円	6,380万円
国民健康保険事業(直営診療施設勘定)	1億7,743万円	1億6,919万円	824万円
老人保健	57億7,711万円	58億4,023万円	△6,312万円
簡易水道事業	12億1,144万円	12億0,283万円	861万円
生活排水処理事業	34億6,710万円	34億4,274万円	2,436万円
幡屋財産区	101万円	67万円	34万円
阿用財産区	187万円	183万円	4万円
清嵐荘事業	3,056万円	3,051万円	5万円



早寝早起き朝ごはん

11月26日、加茂文化ホールラメールともてらすを会場に「子どもの生活リズム向上について」をテーマにした第2回雲南市生涯学習フォーラムが開催しました。

今回のフォーラムには、文部科学省の若手職員や教職員、子どもの居場所づくり活動のスタッフ、教育支援コーディネーターなどが参加しました。

雲南ニュース

平成20年4月に、掛合小学校、多根小学校、松笠小学校、波多小学校、入間小学校の5小学校が統合して、新しく「雲南市立掛合小学校」が誕生します。
11月19日、建設予定地の旧掛合中学校跡地で校舎の起工式が行われました。



掛合小学校完成予想図

雲南市立掛合小学校建設に向け安全祈願祭・起工式

安全祈願祭には、県議会議員や市、地元関係者など約70人が出席して工事の安全を祈りました。引き続き行われた起工式では、速水市長が「特色ある5小学校の教育文化を受け継ぎながら、新しい時代の教育に対応できる特色ある学校にしたいと思います」とあいさつしました。
建設予定の校舎は、鉄筋コンクリート平屋建て、延べ床面積2、521㎡で、地域に開かれた学校として、敷地内には、ふれあい交流広場などの地域交流ゾーンなども設ける予定です。



第2回生涯学習フォーラム開催

ネーターなど関係者140名が参加。シンポジウムや基調講演、分科会を通じて参加者らは、子どもの生活リズムの現状やその対応についての認識を深めました。

基調講演では、埼玉医科大学総合医療センター小児科の星野恭子医師が、生活リズムに関する研究成果を基に早寝・早起き・朝ごはんの重要性を話されました。
その後、分科会へと分かれ、今年度から各中学校へ配置している教育支援コーディネーターを中心に、各学校の「食育活動」や「健康教室」などの取り組みについて意見交換を行いました。
またこの日は、子ども元気あいこ



とばの表彰も行われ、次のみなさんの応募作品が優秀賞に選ばれました。受賞作品は、様々な啓発活動に活用させていただきます。

【子ども元気あいこば賞】受賞者

【児童・生徒の部】

大賞 にごに☆ハワフル☆元気モリモリ!!
坂根亜由美さん(海潮中3年)
優秀賞 朝一番 ラジオの声に1、2、3
錦織佑樹さん(三刀屋小5年)

【一般の部】

大賞 おはようで、元気満タン スイッチON!
鐘撞恵子さん(三刀屋町)
優秀賞 うん・側でも良くなる子 元気な子
稲岡利充さん(木次町)
健やかな この子の笑顔は 我が家の絆なり
景山澄子さん(三刀屋町)
朝飯は 今日のスタミナ 元気で登校
雑賀美子さん(木次町)

「おはよう!」朝から、元気子どもパワー!!
伊藤はるなさん(海潮小6年)

「子ども元気あいこば賞」受賞者

全国大会へ向け大きな弾み

10月22日、島根中央家畜市場(松江市六道町)で、平成18年度島根県種畜共進会が開催され、雲南市の出品牛が優秀な成績を収めました。



雄牛の部・青砥俊夫さん所有「糸晴桜号」



若雌牛の部・山根智恵子さん所有「なつはなかげ号」



成雌牛の部・北尾正成さん所有「ふじいとかつ号」

島根県種畜共進会

所有牛がそれぞれ首席に輝き、肉用牛の各部門の首席を独占するなど平成19年秋に鳥取県で開催される全国和牛能力共進会へ向け大きな弾みとなりました。

雲南市国民保護協議会発足

12月4日、国民保護法に基づく雲南市国民保護計画策定に向けた第1回目の雲南市国民保護協議会が市役所で開催しました。
雲南市国民保護計画は、武力攻撃や大規模なテロなどの事態が発生した場合に備えて、市民の生命や財産を守るため、避難及び救援等の措置や市民の保護のための措置に関し必要な事項を定めるものです。
初回となる会議では、はじめに国や県、市の防災関係者をはじめ通信や運輸業の代表、弁護士など35名が委員に任命されたほか、今後の計画策定までのスケジュールなどを協議しました。



国民保護協議会では今年度中に計画を策定する予定にしています。

雲南市長のこころあふ

新しい年を迎えました。本年が市民の皆様にとって良い年であることを祈念いたします。子供たちが明るく幸せに育つ環境が取り戻せるならば、それはそのまま良い年、明るい世の中の実現につながります。

今、全国で「早寝早起き朝ごはん」運動が進められています。昨年11月に市内加茂町で、生涯学習フォーラムが開催され、その際の講師であるお医者さんが、「早寝早起き」が大切な理由について、データをもとに話されました。それによると、早寝早起きの子供は物覚えが良く、自ずと学校の成績も優れ、情緒も安定し、将来の人格形成にも大きく影響するとのことでした。反対に、それが実践できていない子供は体調がすぐれない、情緒不安定など落ち着かない、と話されました。子供たちの早寝早起きは、お手本となる家族の取り組みがあつてこそです。

新年を迎え、家族で、みんなで、「早寝早起き朝ごはん」を実践しましょう。

そのことは、雲南市総合計画で謳う「世代がふれ合う家族の暮らし、笑顔あふれる地域の絆の実践でもあります。」

雲南市長 速水雄一

アフガニスタン青年ら訪問の際 (11月16日)



雲南ニュース



地域づくりの人材育成

ファシリテーターへのはじめの一歩講座

地域づくりの人材育成を目的に「ファシリテーターへのはじめの一歩講座」が、10月13日を初日とする3回のシリーズで、サンワーク木次を会場に開催されました。

ファシリテーターとは、会議の場で、総意をまとめ上げるのに優れた手腕を発揮する進行役のことで、講座は、NPO法人ひろしまねの村田秀淑さんをメイン講師に招き行われました。



はじめに、地域づくりでやりたい事を紙に書き、その説明と自己紹介に合わせ、同時に相手の思いを聞く「アイスブレイキング」により、短時間に一体感をつくることから講座はスタートしました。その後、30人の受講者らは各グループに分かれ

「批判しない・演説しない・どんな意見も歓迎・質より量」というルールによるワークショップを行いながら、各テーマに沿ったプログラムを作成していきました。

参加者からは、もう少しじっくり学びたいとか、今後も技量アップの講座を実施して欲しいとの意見もあり、充実した講座となりました。



いのちと環境を守る健康づくり、地域づくりに取り組もう

全国健康むら21ネット第3回集会



全国健康むら21ネットと雲南市木次町健康むら大会実行委員会主催による「全国健康むら21ネット第3回集会」が、11月11日に木次町勤労青少年ホームで、およそ200人が参加し開催されました。全国健康むら21ネットは、食の安全や大切さについて

地域（健康むら）で取組もうと平成18年4月に大阪市で設立され、第2回集会是豊岡市、第3回がこのネットの顧問である木次乳業(有)相談役佐藤忠吉氏の推薦で木次の開催となりました。

集会では「産科医からのいのちの警鐘と食育・健康づくり」と題して、産婦人科の専門医で笑いの医学的効用を研究されている昇幹夫先生の講演や「今治市の学校給食と健康村づくり」と題した今治市役所の安井孝氏の地産地消に関する講演など、特に子どもたちの健康づくりや食育、安全・安心の食料環境に取組むことが話し合われました。

農林水産省の補助事業として採択された加茂西地区経営体育成基盤整備事業の起工式が、12月6日、延野自治会館で行われました。生産性の高い農業基盤の整備と農業担い手の育成を図る同事業では、赤川右岸の加茂町延野原を中心とする農地33.5haの区画、農道、水路等の整備を総事業費約7億7千万円（うち国50%、県27.5%、市10%、農家12.5%）かけ実施します。

式では、加茂西地区土地改良組合の岡 精一委員長が「地元の念願であった圃場整備が着手され、うれしく思います。農用地の効率的利用、農作業の省力化、生産性の向上のための営農を積極的に取り組んでいきたい」とあいさつしました。



にぎやかに祝賀パレード

県道玉湯吾妻山線バイパス開通

今回の整備により県道と県道間の接続が便利になりました。

大木原土地区画整理事業により整備してきた「主要地方道玉湯吾妻山線バイパス（神田大通線）」が竣工し、11月24日、供用開始にさきがけ開通式が行われました。

主要地方道玉湯吾妻山線バイパスは、大東公園市民体育館前から主要地方道松江木次線までの区間を結ぶ幹線で、延長340m、幅員19m、事業費約3億6千万円（島根県3千万円と雲南市3億3千万円）をかけて完成しました。

開通式では、島根県や市、地元関係者などがテープカットとくす玉割りで完成を祝った後、大木原とんだ太鼓メンバーや大東保育園園児らも加わり、勇壮な太鼓の響きとともに約130人が記念パレードを行いました。

情報発信、地域交流拠点に

雲南情報プラザオープン



この情報プラザは、現在本格的に工事がすすむ中国横断自動車道尾道松江線の島根県内区間（24.6km）に関する情報発信・地域交流拠点、同事業に関する窓口施設として開所し、施設内には、計画概要図や航空写真のパネル展示などの事業に関する図書コーナー

県営経営体育成基盤整備事業

加茂西地区 起工式



今回の区画整理は、大竹工区、延野工区、大崎・猪尾工区で施工され、受益者（土地を持たない不換地者を含む）124名で、平成23年度の完成をめざしていきます。

11月17日、旧島根県掛合地域農業普及部の施設を利用した国土交通省松江国道事務所の「雲南情報プラザ」がオープンしました。

も備えており、将来は広報専門員の配置も予定しています。

雲南情報プラザ

☎0854-62-9590



鉄の歴史村フォーラム2006
奥出雲たたら経営の特徴

地域を見つめ発信する

鉄の歴史村フォーラム2006

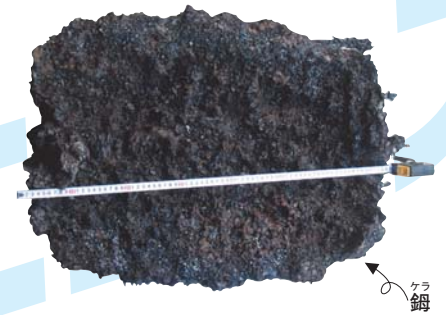
(財)鉄の歴史村地域振興財団の主催による「鉄の歴史村フォーラム2006」が11月11日、吉田健康福祉センターで開かれ、多くの歴史愛好家や研究者などが参加しました。今年で19回を数えるフォー



ラムの基調講演では、島根大学教育学部の相良 英輔教授が、奥出雲たたらの特徴について生産高、経営規模などのデータを基に、石見地域のたたらと比較しながら説明されたほか、奥出雲では鋼よりも鉄(銑鉄)という種類の鉄を多く生産し、割り鉄などの「地鉄」にして出荷されていた事例などもスライドを交えて分かりやすく紹介されました。また、フォーラムの一環として、7日から11日まででは実際に砂鉄から鋸(鋼のもとになる塊)を精製する「近代たたら操業」もあり、全国各地から集まった実習生らが砂鉄672kg、木炭695kgから147kgの鋸を取り出しました。



たたら操業には、ドイツから視察研修に来ていたバイオリン製作のマイスターも参加し、実習生と同じように24時間作業場で過ごしました。



おひらきやくし語りませんか

さくら研修会



さくら守の川淵昭一さんと周藤利夫さんも同行し、アドバイスされました。

が良い」など具体的な管理方法を話されました。引き続き、32名の受講者は、先生とともに斐伊川堤防や三刀屋川河川敷の桜並木、加茂町段部のしだれ桜などを訪れ、実際に桜に触れ、観察しながら生態や手入れのポイントについて学びました。



12月3日、平成18年度さくら研修会が開催され、チエリヴァホールでの講演と市内の桜並木などでの実地研修が行われました。講演では、島根県景観アドバイザーや日本樹木医学会島根県支部顧問などを務める樹木医の柿田義文先生が「花が咲く時だけでなく、1年を通して管理してやらなければならない」、「剪定の時には、見栄えでなく、植物ホルモンが多くある部分を残して切った方

大東町発

ふいとこ戦隊 ダイトレンジャー



ダイトレンジャーは、大東町商工会青年部の有志らで構成するダイトレンジャープロジェクト実行委員会(青木渉代表)がその舞台を演出しています。

わがまちの戦隊

今回は、雲南市のローカルヒーローで、イベントなどでも馴染みの「ふいとこ戦隊ダイトレンジャー」を紹介します。

ダイトレンジャーとは
ダイトレンジャーは、ホタルレツド、カグラブルー、タナバタイエローの3人組。現在、雲南市の自然と文化と歴史を守るため、各種イベントや保育園・幼稚園を訪れ、ヒーローショーを繰り広げています。

もともと「手づくりのヒーロー」の活動を通し、子どもたちに、ふるさとへの愛着や誇りを持つて欲しい」との想いから結成され、登場人物の名前も地元祭りの芸能にちなんでいるほか、シヨのストーリーは、ヤマタノオロチ伝説をモチーフにしたり、方言や地名なども取り入れられています。

登場人物紹介
ダイトレンジャー
ホタルレツド 地域の自然を愛し、必殺技はホタルフラッシュ。
カグラブルー 地域の文化を愛し、必殺技は神楽真空斬り。
タナバタイエロー 地域の歴史を愛し、必殺技はタナバタイエラクシーウェーブ。

そのほかのヒーロー
マルコヤマン ダイトレンジャー誕生前のヒーロー。なかなかお目にかかれない。
カールのおやっさん ダイトレンジャーの生みの親。



も参加されました。青木代表は「現在、市内を中心に、松江市や出雲市、米子市などでの各種イベントで公演しています。最近は、応援してくださる方も多くなり、また公演の感想などいただいたり、うれしく思います。シヨを通じて、子どもたちに、雲南市が「魅力あるふるさと」ということが少しでも伝われば良いと思います」と抱負を語ってくれました。

ご当地ヒーローの活動は、雲南市のPRや地域活性化にも繋がっています。

出演依頼やお問い合わせは、大東町商工会 ☎085414312488まで。

また、ダイトレンジャーの活動にご協力いただける方を募集していますので、お気軽にお電話ください。

悪の秘密結社ZONZO
オロチ総統 敵の親玉。
怪人オツゾー 総統の手下。
ゴンゾー ZONZOの戦闘員。2〜3人いる。

ご当地ヒーローで地域活性化
県内唯一の戦隊ヒーローのダイトレンジャー。平成17年春には、長野県で行われた全国各地のローカルヒーローが集まるイベントに



「ふあーすと」の紹介

「ふあーすと」は、雲南市教育委員会が開設計している「不登校の子どもたちや引きこもりがちな若者にとっての居場所」です。

不登校や引きこもりは、現代日本の大きな教育課題です。ひと昔前なら「学校には行くものだ」「大人になったら仕事をやるものだ」という考えから、不登校や引きこもりは本人や保護者の問題（我慢が足りない・わがまま・甘やかし・しつけの問題など）ととらえらる傾向がありました。

しかし、社会情勢や子どもたちをめぐる教育環境の変化など、「本人や保護者の問題」では片付けられないということが明らかになりました。

不登校や引きこもりの原因は様々です。人付き合いが苦手（自分のことがうまく伝えられない・気遣いでストレスがたまらない・自信が持てない）ほめられた経験が少ない等）、多様な価値観に対する戸惑い（大人数の中で活動した経験が少ない等）、周囲の期待が大きなプレッシャーになる等々…。さらに、原因は一つとは限らず、いくつかの事柄が絡み合っていることもあります。したがって、その

解決に向けた支援も多種多様です。

しかし、支援の方法は様々でも目標は一つです。それは、「**社会的な自立**」ということです。私たちが生きていくには知識や技能のほか、周囲の人と付き合うための協調性や人間関係力などが必要です。これらの力を身につけるのに最適な場が「学校」なのですが、学校に行くことを最終目標ととらえると時間的な焦りを感じてしまい、逆に子どもを追い込んでしまうことになってしまいがちです。

上の学校に進学しても学校を卒業して社会に出て、友達や家族、周囲の人々と関係を保ちながら勉強や仕事を続けていってほしい。そのために少し長い目で子どもを見つめ、その時々の状況に合った支援ができればと思っています。「学校に行けないのなら家にいるしかない」という状態から「今は学校に行けなくても、あそこなら行ける」という状態になれば…。そんな居場所を提供できたらと思っています。

合併前は「三刀屋町教育相談センター（通称：梅子教室）」として、学校に行きにくかったり行っても教室に入りにくかったりする子どもや保護者を対象にした教育相談を行っていました。平成17年には、このセンターが果たす役割を次のように見直し、「ふあーすと」という名前を再スタートしました。（場所はアスパル横）

◎来所してスタッフと雑談するなど、「相談」に限らず多様な利用目的に対応します。
◎小中学生とその保護者だけでなく、青年層にも利用してもらえよう、利用対象を広げます。

◎必要に応じて在籍学校や関係機関と連絡を取り合い、多面的・総合的な支援をします。
このような施設を利用する際、学校は「学校の役割が果たせなくなるのでは…」家庭は「学校との距離が遠のいてしまうのでは…」という不安を持たれることが多いようです。そのような不安の中にも、ごまめに連絡を取り合い、**学校と家庭をつなげる役割**も果たしていきます。
また、「子どもとのかかわり方でちよつと悩んでいて…」というような内容でもお気軽においでください。不登校・引きこもりだけでなく、そうならないための支援にも重点を置いていきます。

【問】ふあーすと
☎0854・45・5176



学社連携・融合による教育活動の推進

コーディネーター通信

第6号



海潮中学校駐在 錦織 慎司

私が駐在している海潮中学校について感じたことと、私自身も課題として捉えている家族の会話について、自分のことは棚に上げてお話をさせていただきます。
海潮中学校は市内で最も小さな中学校です。全校生徒は45名、校区内に小学校は1校のみです。毎日がアットホームな雰囲気です。地域の人も学校のことに関心を持っていただいております。体育祭や文化祭などの学校行事は毎回多数の方が来校され、とても賑やかです。海潮中学校で一番驚いたことは、生徒達が実に素直で「屈託がない」ことです。それまで抱いていた「中学生像」と言うのがいかに現実とずれていたかを思い知らされました。ところで、突然ですがみなさんはこの問題が解決しますか？

現在の島根県の人口は何人か。次から最も近いものを選び、記号で答えなさい。
ア 74万人 イ 84万人 ウ 94万人 エ 64万人

鎌倉時代の民衆の多くは文字の読み書きがあまりできなかったにもかかわらず、「平家物語」の内容は民衆にもよく知られていました。その理由を答えなさい。
日本の太平洋側を南から北に向けて流れる海流の名前を答えなさい。

私がこの原稿を書いている今、ちょうど中学校は2学期の期末テストの真っ最中です。先ほどの問題

は、それぞれ「3年生」「1年生」「2年生」の社会科の問題です。

皆さんの中には、家族・親戚に中学生のいる家庭がたくさんあると思います。皆さんは、その中学生が今何を学んでいるかご存知ですか？

今、子ども達と家族の会話がとても少なくなっていると言われています。その一因になっているのが「子ども達のメディア漬け」だと思われまます。雲南市で平成17年度行った生活実態調査でも、同様の傾向が見られます。「この問題も、テレビやインターネットを「目的」にせず、「手段」にすることで「解決の糸口が見えてくるのではないかと思います。つまり「観る」ことで終わるのではなく、「そこで観たことについて家族で「話す」、そのための手段としてメディアを活用すれば「メディア漬け」から脱することが出来るのではないかと思います。もちろんそのためには、子ども達が何を観ているのか、他の家族が知る必要があります。情報化された社会の中で生きる以上、そういったメディアを活用するのは避けて通れない道です。ならば、そういったメディアの負の部分に子ども達のみをまねないよう、家庭で子ども達が触れているメディアについて話をしたいだけではないと思います。

もつお気づきでしょうか、突然私が問題を出したのは、子ども達の最大の関心事である期末テストの内容について家族で何か会話をされたかお聞きしたかったからです。子ども達は我々大人が思っているよりもはるかに小さなことに強いストレスを感じています。それを未然に防ぐためにも、どんな些細なことについても家族の会話を大切にしていきたいと願っています。

教育支援コーディネーターは現在、子ども達が健やかに、誇りある雲南市民に育つよう様々な施策を展開しています。皆さまも、何かお気づきになりましたらぜひ教えてください。我々の力の及ぶ限り、全力で取り組む決意であります。



わが家のHOPE



西村 龍二さん・知美さんのお子さん
いっしん 一真くん（大東町下阿用）
平成18年1月7日生まれ
笑顔の素敵ないっちゃん、健康で元気いっぱい大きくなってね！



星野 寿幸さん・かほりちゃんのお子さん
ひでとし 英寿くん（三刀屋町三刀屋）
平成18年1月4日生まれ
優しい佳奈お姉ちゃんが大好きで、毎日遊んでもらいます。2人仲良く大きくなってね！



武田 尚志さん・亜純子さんのお子さん
まな 真奈ちゃん（木次町宇谷）
平成18年1月25日生まれ
だっこ大好き甘えんぼ真奈♡わが家の大事な宝物だよ。生まれてきてくれてありがとう♡



永瀬 紘樹さん・久美子さんのお子さん
いっき 一稀くん（加茂町加茂中）
平成18年1月13日生まれ
1歳おめでとう！一稀の笑顔が皆大好きだよ♡元気にたくましく優しい子に育ってネ♡



景山 順和さん・久美子さんのお子さん
いちか 依知香ちゃん（大東町大東）
平成18年1月13日生まれ
いっぱい遊んで、いっぱい笑って、元気に大きくなってください♡



飯塚 博之さん・真理子さんのお子さん
あつや 敦也くん（木次町里方）
平成18年1月31日生まれ
いたずら大好き★食べるの大好き★でもいちばんは、ももちゃんと涼ちゃんだよ♡

2月で満1歳（平成18年2月生まれ）になるお子さんを募集！

写真にコメント（40字程度）を添え、郵送またはメールで1月9日（火）までに情報政策課へお送りください。
【問】情報政策課 ☎0854・40・11015
E-Mail: youhouseisaku@city.nanshan.jp.
※市ホームページの中でも市報うんなんに掲載します。



11月19日、木次町のおろち湯ったり館の入場者が150万人を達成しました。150万人目の利用者となったのは、出雲市在住の田口文雄さん。記念セレモニーでは、田口さんとその前後に入場された5人にも無料入浴券などの記念品が贈られました。

湯ったり館は、平成9年12月にオープンし、気泡浴、寝湯などの木風呂・石風呂のほか、温泉プール、屋上露天風呂などが好評を得ており、現在1日平均で約500名の利用があります。

冬はあつたか温泉で

一方、掛合町の波多温泉「満壽の湯」でも入浴者数が10万人を数え、12月3日に、江田幹雄さん（松江市島根町）に記念品が贈られました。

波多温泉は、掛合町ふるさと創生事業「好老の郷づくり」計画により、平成9年に温泉スタンド開設、平成14年8月に「満壽の湯」をオープンしています。

満壽の湯は、「普段着の温泉」というキャッチフレーズで町内外の温泉ファンに親しまれ、柚子湯、バラ湯、シヨウブ湯など季節に合せた温泉を楽しめます。



おろち湯ったり館 開館時間 午前10時～午後9時（定休日 毎週水曜日12月は27日除く）
入湯料 大人500円、65才以上400円、小人250円 ☎0854-42-9181



波多温泉「満壽の湯」
開館時間 午前10時～午後8時（定休日 毎週水曜日）
入湯料 大人300円、小人150円 ☎0854-64-0800

また、運営は、指定管理によりコミュニティビジネスとして波多地区コミュニティ協議会が行っています。

人権の樹 (ハナミズキ) 記念植樹

12月の人権週間に先がけ、加茂小学校（11月9日）と塩田小学校（11月21日）で、児童らがハナミズキを植樹しました。

この記念植樹は、学校周辺や通学路沿いへ、花を飾るなどの「人権の花活動」の3年間達成記念にあわせ、雲南人権擁護委員協議会が主催したものです。

校庭に植えられたハナミズキが子どもたちの思いやりの心とともに大きく成長していくことを願います。



加茂小学校の記念植樹



塩田小学校の記念植樹

海潮・小河内自治会で 地域安全・防災教室

小河内自治会（新田幸雄会長・42戸）では、地域の安全と安心生活に役立てようと、地域安全推進員と自治会防火クラブとの共催で地域安全・防災教室を開催しました。

当日は57名の皆さんが参加し、始めに海潮駐在所の斎藤巡査部長から、近年多発する「振り込め詐欺」や「車上狙い」、また「雨天時のスリップ事故」についての講義を受講。その後、日本赤十字社講師から、災害時の炊き出し訓練と救急法の指導を受けました。

特に炊き出し訓練では、災害時には飲料水も不足することから、少ない水でお米を炊く方法や炊き出し米の保存方法などについて学びました。

11月19日 (大東町)



歳末チャリティーショー

内各地で歳末チャリティーショーが開催されました。このうち吉田町では、「あつたかハート集まれ!!06 吉田町歳末チャリティーショー（11月25日・吉田町生涯学習交流館）」が盛大に開催されました。

今年の参加団体は、町内外合せて12団体。歌にダンス、大正琴、寸劇など各団体趣向を凝らしたもので、子どもも大人も可愛らしい歌や踊りで和やかなひとときを過ごしました。

また、三刀屋町でも「みとや町歳末チャリティー余芸大会（12月10日）」が、にぎやかに開催され、会場となったアスパルには大勢の人が訪れました。



吉田村商工会青年部の出店や抽選会もあり、会場を盛りあげました。



各種ステージのほか会場では、福祉バザーや炭の模擬店なども出展されたほか、豪華景品の当たる抽選会もありました。



（株）吉田ふるさと村は、たまごかけご飯のテーマソング「クルクルたまごはん」を昨年に引き続き披露

Hello Everyone

国際交流員(CIR)の迷言コーナー

うん、なんでしょう

JICA青年招へい事業 アフガン青年との国際交流



11月16日から19日までの期間、アフガニスタン行政グループの皆さん14名が雲南市を訪れ、雲南消防署や尾原ダム建設地などの見学や市内各地でホームステイをしました。



ロジャーです。日本の文化を大学で習った時からずっと相撲に憧れていました。大変いい経験になりました。

徐々に寒さが本格的になり、今年も残り少なくなった気がします。写真を見てください！秋の間に色々な文化体験をしました。掛合町で相撲の初体験やどじょうすくい踊りなどです。今では相撲を面白く感じ、全部の試合を集中して見るようになりました。1月場所が楽しみです！





おめでとうございます

叙位・叙勲受章

【正六位 瑞宝双光章】
教育功勞により
故 多賀輝雄さん
(木次町下熊谷)

【旭日単光章】

地方自治功勞により
安井武雄さん(大東町篠淵)

【瑞宝双光章】

地方自治功勞により
山根嘉光さん(三刀屋町給下)

表彰受賞

【地方自治功勞】

石橋 巧さん(掛合町松笠)
妹尾満郎さん(大東町前原)

お詫びと訂正

市報うんなん12月号の記載内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

12P、ありがとうございます
(誤) ホシザキ電機株式会社
代表取締役 坂本清志
(正) ホシザキ電機株式会社
代表取締役 坂本精志

【交通安全功勞】

福岡富市さん(大東町田中)

【保健・医療・福祉功勞】

岡田隆宣さん(大東町飯田)
杉原政弘さん(吉田町吉田)
細木榮悦さん(木次町木次)

【2006日本イベント大賞】

経済産業省所管(社)日本イベント産業振興協会主催

【制作賞部門(全国の優れたイベントのうち)】

第1回日本たまごかけごはんシンポジウム

優良海洋センター表彰

【全国480海洋センターのうち特A(15団体)に評価】
雲南市加茂BO&G海洋センター

お詫びと訂正

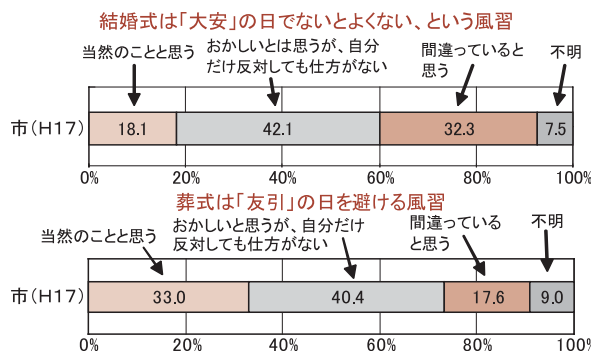
12P、雲南市からのお知らせ 下段 人権擁護委員の紹介 (誤) 山根幹男(木次町山方)

(正) 山根幹男(木次町里方) 11P、ふるさとウォッチング 赤ちゃんくらぶ 記事中 (誤) 松江市の狩野麻美さん (正) 松江市の狩野麻美さん

人権問題に関する意識調査の結果 その②

雲南市人権センター ☎0854-42-11767
今回は、暮らしの中の風習・慣習について考えてみたいと思います。

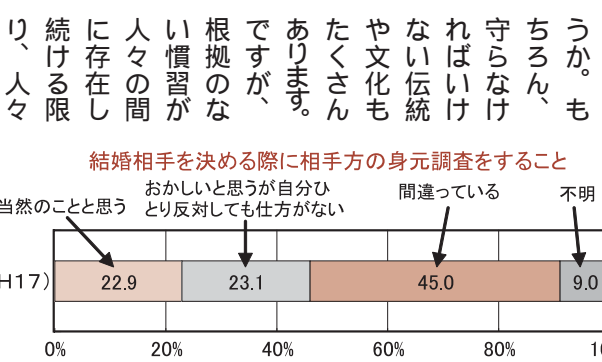
「仏滅の日」は結婚式をさけたり、「友引の日」は葬式をさけたり・・・こだわっていませんか。この風習は、現在の私たちの生活でも今なお信じられています。



う人もいますが、果たしてそれでいいのでしょうか。個人にとつて「良い日」、「悪い日」があったとしても、「日」そのものには吉凶はないはずで

結婚相手を決める際に相手方の身元調査をすること

びつきを重要視する考えも、どこまでよ



【パブリックコメントを実施します】
雲南市人権センター ☎0854-42-11767
雲南市男女共同参画計画案
雲南市人権施策推進基本方針
平成19年1月5日(金)より2月5日(月)まで受け付けます。

入札参加資格審査申請の受け付けについて

管財課 ☎0854-40-1025
平成19・20年度の入札参加資格審査申請を次のとおり受け付けています。
【受付期間】
平成19年1月4日(木)9時～1月31日(水)17時まで
【取扱業種】
建設工事、測量・建設コンサ

の紅葉、常緑樹もあわせ、市内一帯を総合的に調和のとれた美しいまちにしていきたいと考えます。その中でも、イチョウがシンボルとして親しまれることを願っています。市民の皆様から応募いただいた候補の上位は、いずれも「多くの市民に親しまれ、雲南市のイメージにふさわしいもの」とした選定基準に該当するものばかりでした。したがって、選考にあたっては「よりふさわしいもの」と審議し候補の中から却下する方法はとっておりませんのでご了承ください。

雲南市民質問交歓のご案内

総務課 ☎0854-40-1021
市では、次のとおり質問交歓会を開催します。市民の皆様、多数お出かけください。
【とき】平成19年1月4日(木) 13時30分から
【会場】大東公園市民体育館
【会費】無料
参加を希望される方は、各総合センター自治振興課までお申し込みください。

雲南市民バス等の年末年始運休のお知らせ

政策推進課 ☎0854-40-1011
または各総合センター自治振興課
雲南市民バス等の年末年始運休期間は次のとおりです。

バス及び路線名	運休期間
大東地域バス 加茂地域バス 木次地域バス (北原線を除くその他の路線) 三刀屋地域バス 吉田地域バス 掛合「だんだんタクシー」	12月30日(土)～1月3日(水)
広域路線バス『吉田大東線』 木次地域バス『北原線』	12月31日(日)～1月3日(水)
三刀屋出雲線、出雲根波線	12月30日(土)～1月4日(木)

お間違えのないようご注意ください。

広告枠

広告枠

年末年始の業務について

市民生活課
☎0854-40-1031
三刀屋斎場
☎0854-45-3242
三刀屋斎場の年末年始の業務は次のとおりです。
年末年始業務
12月31日までは業務を行います。1日・2日は休業し、3日より業務開始します。

家屋を取り壊したときは速やかに届けましょう！

事務所
☎0854-40-1034
平成18年中に建て替えや移転などのため、建物を取り壊した場合は1月中旬に届け出てください。
取り壊した建物が登記されている場合
法務局で速やかに滅失登記をしてください。この登記をされれば市役所への届出は不要です。

取り壊した建物が未登記の場合
市役所税務課または各総合センターの窓口で家屋滅失届に記入して届け出てください（認印をご持参ください）。
なお、取り壊された建物を

家屋台帳等で特定するのに、多少お時間をいただくことがあります。
右記の登記または届け出を忘れると、実際には存在しない家屋の固定資産税を納め続けることとなります。
固定資産税は毎年1月1日（賦課期日）現在に所有される土地、家屋、償却資産が課税対象となります。

償却資産（固定資産税）の申告を忘れずに

事務所
☎0854-40-1034
土地や家屋以外の事業用資産を償却資産といえます。
会社や個人が事業のために所有している機械、器具、備品、構築物などの資産が償却資産となります。
例えば、レジスター、商品陳列ケース、自動販売機、冷蔵庫などです。ただし、自動車、軽自動車等は除きます。
これらの所有者は、毎年1月1日現在における償却資産について、所在、種類、数量、取得時期、取得価額、耐用年数等を1月31日までに申告する義務があります（地方税法第383条）。

平成19年から所得税と個人住民税が大きく変わります

事務所
☎0854-40-1034
所得税から個人住民税への税源移譲
三位一体改革の一環として、地方自治体が自主的に財源の確保を行い、住民にとって真に必要な行政サービスを自らの責任でより効率的に行えるよう、平成19年から国税である所得税から地方税である個人住民税へ3兆円規模の税源移譲が行われます。

所得割税率10%に統一
住民税所得割の税率は、課税所得金額に応じ5%から13%までの3段階であったものが平成19年度分からは一律10%になります。
また、所得税の税率は、課税所得金額に応じ10%から37%までの4段階であったものが、平成19年分から5%から40%までの6段階に改正されます。
なお、住民税と所得税の個人

今月の税金

納期限は1月31日(水)まで

市民税・県民税（第4期分）
国民健康保険料（第10期分）

改正前		改正後	
課税所得	税率	課税所得	税率
～ 330万円	10%	～ 195万円	5%
330万円～ 900万円	20%	195万円～ 330万円	10%
900万円～ 1,800万円	30%	330万円～ 695万円	20%
1,800万円～	37%	695万円～ 900万円	23%
		900万円～ 1,800万円	33%
		1,800万円～	40%

改正前		改正後	
課税所得	標準税率	課税所得	標準税率
～ 200万円	5%	一律	10%
200万円～ 700万円	10%	減額措置：全世帯において人的控除の差を考慮した減額措置を実施。	
700万円～	13%		

的控除（基礎控除や扶養控除等）の差に応じた減額措置を講ずるため、税源移譲の前後で住民税と所得税の合計負担額は変わりません。

毎月の給料から税金を天引されている方は、所得税の減少は平成19年1月の給料から、個人住民税の増加は平成19年6月の給料から実施されます。給与天引でない方（事業をされている方等）は、個人住民税

忘れずに申告してください。

申告は、正しく期限内に

事務所
☎0854-40-1034
所得税・住民税の申告相談
平成19年2月16日（金）から3月15日（木）まで申告相談を実施します。
この申告は、市・県民税の課税、国民健康保険料、介護保険料の賦課のほか福祉・医療・児童手当等の給付や保育料、公営住宅使用料等の算定の基礎となります。
申告相談について詳しくは、1月下旬に各世帯に配付する

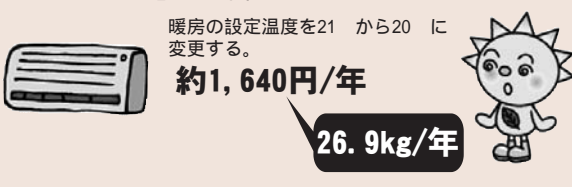
みんなが主役 省エネでつくる環境のまち 実践にご協力ください～その⑦～

市民部環境対策課 ☎0854-40-1033

★冬の省エネ 冬になるとコタツや電気毛布、ストーブ、エアコン等の暖房器具が欠かせません。そのため、冬になると電気代が膨らむ、というご家庭が多いのではないのでしょうか。

例えば、冬のエアコンの最適設定温度は18～20℃といわれていますが、20℃を超えてはいませんか？もちろん適度な暖房は健康に必要ですが、過度の暖房は健康を害してしまいます。地球にも健康にも家計にも優しいエコライフを実践しましょう。

<電気代節約とCO₂削減量>
暖房の設定温度を21 から20 に変更する。
約1,640円/年
26.9kg/年



チラシをご覧ください。

農業所得の申告相談
農業所得について、次の日程で申告相談を受け付けます。

会場	相談日（土・日曜日除く）
大東総合センター	1月24日(水)～1月30日(火)
加茂総合センター	1月31日(水)～2月2日(金)
木次総合センター	2月5日(月)～2月7日(水)
三刀屋健康福祉センター	1月31日(水)～2月2日(金)
吉田総合センター	1月29日(月)～1月30日(火)
掛合総合センター	2月5日(月)～2月7日(水)

詳しくは、12月上旬に送付しました「農業所得申告相談日のご案内」をご覧ください。

広告枠

広告枠

雲南市では生活情報の提供と、産業振興の一助、行財政改革の一環として有料広告枠を設けました。

広告掲載をご希望の方は、木次都市開発(株) (広告代理店) ☎0854-42-2221までお問い合わせ下さい。

観光ボランティア養成講座
 今回の講座により、神話やヤマタノオコチ伝説にまつわる史跡などはもちろん、市内の観光地を案内していただくガイドを養成するとともに地域経済の一層の活性化にも繋がりたいと考えています。

この「観光ボランティア養成講座」にお申し込みいただきますと、現在雲南市教育委員会が主催する「雲南市民大講義」の「特別講座」の受講生として、平成19年2月から観光地に関する知識はもとより、ガイドとしての心得なども身につけていただくこととなります。

雲南市の観光資源について理解を深めるとともに、その知識と「もてなしの心」で観

麻しん風しん予防接種はお済みでしょうか?
 健康推進課
 ☎0854-40-11045
 今年度より、麻しん風しん予防接種の方法が変更になっています。特に小学校就学1年前（平成12年4月2日から平成13年4月1日生まれ）のお子さんが対象となる2期は、平成19年3月31日までの接種期間ですので、計画的に接種

まちづくり推進懇話会議委員募集中!
 政策推進課 ☎0854-40-1011
 市民と行政の協働によるまちづくりを進めていくため、その基本となる理念や市民の行政への参画（権利・責務）など市政運営の基本を示す『(仮称) 雲南市まちづくり基本条例』を策定します。
 ☆まちづくり推進懇話会議とは 基本条例の策定にあたり、市民の立場から検討し、市長に対し提言します。
 ☆検討内容は 基本条例案の策定に関する調査及び研究に関すること。基本条例案の検討及び作成に関すること。 その他基本条例案の検討に必要な事項に関すること。
 ☆応募人員は 若干名（書類選考により決定します。）
 ☆応募資格は 満18歳以上（平成18年4月1日現在）の市内在住または在勤者で、本市のまちづくりに関心がある方。
 ☆任期は 基本条例制定の日まで。
 ☆応募方法は 政策企画部政策推進課または各総合センター、あるいは市ホームページにある「応募用紙」に必要事項を記載し、提出して下さい。応募締め切りは平成19年1月12日（金）です。

広告枠

災害にあつたとき 所得税・住民税で雑損控除が受けられる場合があります
 税務課
 ☎0854-40-11034
 災害、盗難又は横領によって生活用資産などに損害を受けたときは、災害に関連する支出の有無等により次の算式により計算した金額（と）のいずれが多い方）が雑損控除となります。

① 差引損失額－所得金額の10分の1
 ② 差引損失額のうち災害関連支出の金額－5万円
 差引損失額＝損害金額 保険金などによって補てんされる金額

災害関連支出＝災害により滅失した住宅、家財を除去するための費用や豪雪による家屋の倒壊を防止するための屋根の雪下ろし費用など

控除を受けるには（確定）申告が必要です。また、災害等に関連してやむを得ない支出がある場合は、その領収証を添付するか、提示することが必要です。

なお、損害金額には修繕等に支出した金額の全てが充てはまるというものではありません。

高齢者のための技能講習会
 健康福祉総務課
 ☎0854-40-11041
 雲南市シルバー人材センターでは、就労意欲のある高齢者のための講習会を行います。

・ 障子張替え講習会
 1月23日（火）～26日（金）
 9時～12時（定員15名）
 雲南市シルバー人材センター

せん。計算の参考として使用いたしますので次のものをご準備ください。
 ・ 被害を受けた資産の明細（資産内容、取得時期、取得価額等）がわかるもの
 ・ 被害を受けた資産の取り壊し費用、除去費用その他これに類する費用で、災害に関連して支出した金額の明細の分かるもの（見積書、請求書、領収証等）
 ・ 被害があつたことよって受け取る保険金、損害賠償金、災害見舞金等の金額の分かるもの
 ・ 被災証明書（市区町村が発行する証明書）、写真等（被災状況の確認のため）
 詳しくは、大東税務署 ☎0854-43-2360まで

新町交差点広場愛称募集
 加茂総合センター事業管理課
 ☎0854-49-8603
 平成18年7月に竣工した新町交差点広場（加茂町加茂中地内）の愛称を募集します。

この広場は加茂中地区の活性化のシンボルと位置づけ、地域イベントの開催や憩いの広場として広く住民の方に親しんでいただくことを目的としています。

【応募方法】
 応募用紙は、加茂総合センター事業管理課にあるほか、雲南市ホームページからもダウンロードすることが出来ます。（加茂町内へは全戸配布済）

大東支部・作業所の基礎知識と実技です。
 運転業務講習会
 2月6日（火）・7日（水）
 9時～12時（定員25名）
 三刀屋健康福祉センター
 内容は、福祉関連の運転業務に関する心得と高齢者の安全運転です。
 申し込みは、雲南市シルバー人材センター ☎0854-42-3642まで



広場でのイベントの様子

用紙には、広場の名称（読み方）と由来、住所、氏名、連絡先を明記のうえ、加茂総合センターへ直接お持ちいただくか、郵送、ファクシミリ、Eメールなどでお送り下さい。電話での応募はできません。採用された作品には記念品を呈呈いたします。

応募作品数は一人何点でも結構です。

【応募期間】
 平成19年1月4日～1月31日
 【応募及び問合せ先】
 〒699-1106
 加茂町加茂中972-5
 加茂総合センター事業管理課
 FAX番号：0854-49-7642
 E-Mail:kamo-jigyokanri@city.unan.shimane.jp

広告枠

子育て支援センターなどのスケジュール

Table with 3 columns: Category (e.g., 保育園, 子育てサロン), Location/Activity Name, and Schedule/Details.

大東保育園 ☎43-6132 : 大保、かもめ保育園 ☎43-3010 : かもめ、あおぞら保育園(大東子育て支援センター) ☎43-9500 : あおぞら、地域福祉センターおおき ☎43-5610 : おおき、大東農村改善センター 桂荘 ☎43-2414 : 桂荘、加茂子育て支援センター ☎49-6723 : かも、木次町子育て支援センター ☎42-2030 : きすき、社会福祉協議会木次支部 ☎42-9080、社会福祉協議会三刀屋支部 ☎45-3659、三刀屋子育て支援センター(三刀屋健康福祉センター内) ☎45-9501 : みとや、吉田保育所 ☎74-0330 : よしだ、田井保育所 ☎75-0201 : たい、かけや夢の子園 ☎62-9900 : 夢の子 Cはセンター、市外局番はいずれも0854

図書館だより

雲南市立大東図書館 ☎0854-43-6131
1月の休館日 1月3日まで【年始休館】、毎週金曜日、8日(祝)、31日(水)【図書整理日】
イベント案内 「こぐまちゃんくらぶ」毎週月曜日 11:00~ わらべうたあそびなど
新着の本(抄) ▼浅田次郎「中原の虹 第二巻」▼宮城谷昌光「三国志 第五巻」▼遠藤周作「十頁だけ読んでごらん下さい。十頁たつて飽いたらこの本を捨てて下さって宜しい。狐狸庵先生の心に届く手紙」▼秦建日子「アンフェアな月」▼群ようこ「ぬるい生活」▼奥野修司「心にナイフをしのばせて」▼米原万里「他謔の空似 ことわざ人類学」▼舛田光洋「夢をかなえる そうじカ」▼アンドルー・ゴードン「日本の200年 上・下」▼妻尚中「愛国の作法」▼茂木健一郎「ひらめき脳」▼倉田新ほか「食を育む 食育実践ガイドブック」▼近藤幹生「保育園と幼稚園がいっしょになるとき」▼小栗左多里「かんたん! 勝負ごはん」▼楠本雅弘「集落営農 つくり方・運営・経営管理の実例」▼辰巳出版「やすらぎを届ける心の絵手紙」ほか

雲南市立木次図書館 ☎0854-42-1021
1月の休館日 1月3日まで【年始休館】、毎週月曜日、9日(火)【祝日振替】1月30日(火)~2月12日(月)まで蔵書点検、配架修正などの作業のため、休館します。
イベント案内 「よみかたりのじかん」毎週木曜日 15:30~
新着の本(抄) ▼浅田次郎「中原の虹(1)(2)」▼西村京太郎「華の棺」▼島田荘司「最後の一球」▼清水義範「冬至祭」▼高杉良「腐蝕生保(上)(下)」▼平岩弓枝「北前船の事件」▼群ようこ「馬琴の嫁」▼藤沢周平「藤沢周平未刊行初期短篇」▼西加奈子「通天閣」▼丸谷オー「双六で東海道」▼伊東乾「さよなら、サイレント・ネイビー」▼石田衣良「恋は、あなたのすべてじゃない」▼美嘉「恋空(上)(下)」▼玄有宗久「ペラポーな生活」▼大江健三郎「『伝える言葉』プラス」▼河合英雄、立花隆「読む力・聴く力」▼上田裕之「チャンスをつかむ『50代再就職』」▼岩野絵美子「通園通学毎日いっしょのバッグと小もの」▼岡本雅子「シニアのためのおいしい電子レンジ料理」▼池田書店編集部編「見てわかる! クルマ洗車&磨き完全ガイド」▼読売新聞政治部「検証国家戦略なき日本」▼水野治太郎、日野原重明ほか「おとなのいのちの教育」▼萩原規子「ファンタジーのD・N・A」▼小泉吉宏「ブタのふところ」ほか

雲南市立加茂図書館 ☎0854-49-8739
1月の休館日 1月3日まで【年始休館】、毎週木曜日、8日(祝)、31日(水)【図書館整理日振替】
司書のおすすめ! 読み語りに使った本を紹介します
対象は小学生ですが、本によってはその限りではありません。ぜひ一度手に取ってみてください。
『ママ、ママ、おなかがいたいよ』レミー・チャーリップ パートン・サブリー さくえ つばいいくみやく 福音館書店
ママがほうしを探していると、男の子が「ママ、ママ、おなかがいたいよ」とさげました。見ればおなかは信じられないほどふくらんでいます。いったい何を食べたのでしょうか。奇想天外なお話で、子どもと一緒に楽しめます。
『ちよろりんのすてきなセーター』降矢なな さくえ こどものとも傑作集 福音館書店
さむがりやのとかげの子ちよろりんは、洋服店で見つけたセーターをほしがります。でも、お母さんは買ってくれません。ちよろりんはどうするでしょうか? 寒い季節にぴったりのあたたかくなるお話です。

1月古紙回収 (ダンボール・雑誌類・新聞紙・広告チラシ)

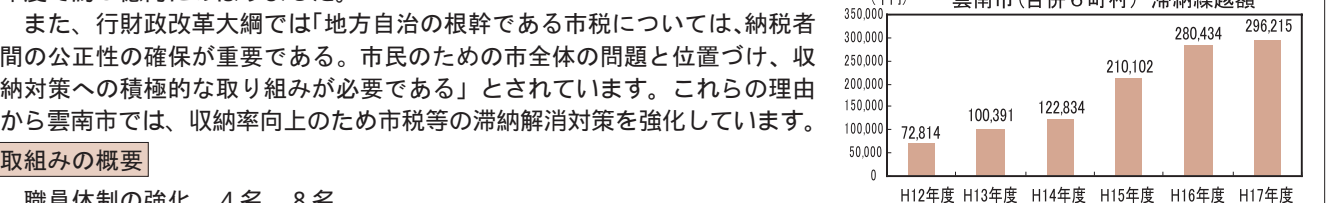
Table with 3 columns: Location (大東町, 木次町, 三刀屋町), Date (1月21日, 1月14日), and Venue (大東町体育文化センター, 斐伊体育館, 三刀屋総合センター).

品目ごとに紐でくくり、1絡みは10kg以内です。持ち出しは当日のみで、指定の集積場所にお持ち下さい。

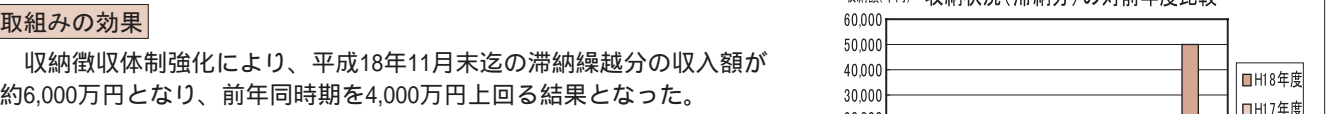
1月の古紙回収 環境対策課 ☎0854-40-1033
古紙回収(ダンボール・雑誌類・新聞紙・広告チラシ)を次のとおり行います。吉田町、掛合町の古紙回収は今までもおりです。

市税徴収強化への取り組み~昨年度実績を上回る「滞納繰越分」の徴収(平成18年10月末時点)~

取組みの背景 雲南市(旧6町村)の滞納繰越額は、平成15年度調定額で約2億円だったものが、平成16年度約2億8千万円、平成17年度で約3億円にのびりました。また、行財政改革大綱では「地方自治の根幹である市税については、納税者間の公正性の確保が重要である。市民のための市全体の問題と位置づけ、収納対策への積極的な取り組みが必要である」とされています。これらの理由から雲南市では、収納率向上のため市税等の滞納解消対策を強化しています。

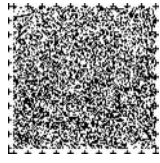


取組みの概要 職員体制の強化 4名 8名 相互併任制度による島根県(東部県民センター雲南事務所)と雲南市との職員相互派遣による徴収技術のスキルアップ 滞納処分の実施(平成17年度以前の滞納者を対象に、差押予告書を発布し、納付・連絡のない者、納付約束不履行者など誠意のない者について、預貯金調査、預貯金差押を実施)



取組みの効果 収納徴収体制強化により、平成18年11月末迄の滞納繰越分の収入額が約6,000万円となり、前年同時期を4,000万円上回る結果となった。今後、平成18年度3月末時点での滞納繰越分収入額の対前年度比1億円アップをめざして収納徴収に取り組むとともに、滞納者との納税相談などを実施したうえで納税時期・納税方法について対応していく予定にしています。

今年冬のインフルエンザ対策は... 保健師です。22
インフルエンザとは... インフルエンザはインフルエンザウイルスの感染により起こります。咳やくしゃみによりウイルスが空気中に広がり感染します。...
① 感染経路を遮断する... ② 抵抗力をつける... ③ ウイルスに近づかない、近づけない!
インフルエンザと風邪はここが違う!
SPコードとは音声読み上げ用の2次元コードです。このコードを専用装置で読み取ることで、記録されている情報を音声に変換することができます。



1
2007
January

市民カレンダー



問い合わせ (市外局番は0854)

各種健診に関すること

- 健康福祉部健康推進課
☎40-1045
- 大東健康福祉センター
☎43-6142
- 加茂健康福祉センターかもてらす
☎49-8612
- 木次健康福祉センター
☎40-1083
- 三刀屋健康福祉センター
☎45-9501
- 吉田健康福祉センター
☎74-0215
- 掛合健康福祉センター/好老センター
☎62-0056
- まめなかセンター ☎62-0231
- 島根県雲南保健所 ☎42-2800

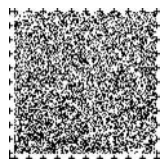
イベント・その他

- 雲南市議会事務局 ☎40-1004
- 古代鉄歌謡館 ☎43-6568
- 大東体育文化センター
☎43-2130
- 大東公園市民体育館
☎43-5511
- 大東農村環境改善センター『桂荘』
☎43-2414
- 雲南市加茂文化ホール・ラメール
☎49-8500
- 加茂B&G海洋センター
☎49-7100
- 雲南市木次体育館 ☎42-0375
- 木次経済文化会館チェリヴァホール
☎42-1155
- 三刀屋文化体育館アスパル
☎45-9222
- 吉田勤労者体育センター
☎74-0211
- 吉田公民館 ☎74-0219
- 吉田町田井公民館 ☎75-0312
- 雲南市掛合体育館 ☎62-0013

開催場所

- 大…大東町
- 加…加茂町
- 木…木次町
- 三…三刀屋町
- 吉…吉田町
- 掛…掛合町
- 他…その他

SPコードとは
音声読み上げ用の
2次元コードです。
このコードを専用
装置で読み取るこ
とで、記録されて
いる情報を音声に
変換することができます。



日	月	火
	1 元旦 掛 元旦マラソン (掛合体育館前 8:00集合) 木 昔なつかし写真展 in雲南「雲南はひとつ」 (チェリヴァホール1階 12/23~1/21まで)	2
7 雲南市消防出初式 (アスパル 9:30~)	8 成人の日 加 断酒会 (かもてらす 18:30~20:30)	9 赤ちゃん相談 (木次健康福祉センター 9:30~) 大 断酒会 (大東地域福祉センターおおぎ 19:00~)
昔なつかし写真展 in 雲南「雲南はひとつ」 期間●12月23日(土)~1月21日(日) 場所●チェリヴァホール1階ホール		
14 古紙回収 (三刀屋地区)	15 断酒会 (下熊谷地域福祉サブセンター 19:00~) 木 アルコールによる困りごと相談 (島根県雲南保健所 13:00~ 予約制)	16 親子健康教室 (阿用公民館 9:30~) 加 育児相談 (加茂健康福祉センター) 他 交通事故巡回相談 (出雲市役所 9:00~15:00) 【問】交通事故相談所 ☎0852-22-5102
21 古紙回収 (大東・木次地区) 木 第29回木次町新年走ろう大会 (勤労青少年ホーム発着)	22 難病専門相談事業 (三刀屋健康福祉センター 10:00~12:00) 木 難病専門相談事業 (島根県雲南保健所 13:30~15:30) 【問】島根県雲南保健所	23
28 第20回カキまつり (道の駅「掛合の里」10:00~15:00) 加 第22回加茂町バスケットボール大会 (加茂中学校ほか)	29 断酒会 (三刀屋健康福祉センター 19:00~)	30 玉湯吾妻山線・川井橋竣工式 (現地 10:00~) 他 再就職に向けての職業講習会 (出雲合同庁舎 10:00~16:00) 【問】(財)ふるさと島根定住財団 ☎0852-28-1322
第20回 カキまつり 1月28日(日) 道の駅「掛合の里」駐車場 10:00~ 掛合特産品販売 12:30~ かき販売開始		

日登愛育班 表彰受賞

高知市で行われた平成18年度母子保健功
労者表彰式で、自主的に健康づくり活動を実
践し、地域で健康増進に努めているグルー
プの一つとして、木次町日登愛育班が(社)恩賜財団母子愛育会会長表彰を受賞されました。
木次町日登愛育班は、昭和53年に結成され、当初乳幼児のいる家庭を対象に家庭訪問
を中心とした活動をしていましたが、少子・高齢化に伴い、高齢者世帯、独居世帯も対象
に加えるようになりました。現在では、自分たちの健康は自分たちで守ろうと、全世帯を
対象に活動を展開しています。班員が、訪問テーマにそって家庭訪問を行ったり、健康教
育、環境問題等に取り組んだりしています。長年の活動により、自治会内住民に愛育班活
動は受け入れられ、近隣住民の支えあいや助け合いの意識が全体に根付いています。



木次町日登愛育班の班長の西原倍子さん

水	木	金	土
3	4 雲南市役所仕事初め 大 雲南市賀詞交換会 (大東公園市民体育館 13:30~) 自 断酒会 (ふるさとセンター 19:00~)	5	6
10 木 こころの健康&もの忘れ相談 (島根県雲南保健所 13:00~ 予約制) 掛 さんさん教室 (掛合公民館 9:30~、波多公民館 9:30~)	11 乳児健診 木次、三刀屋、掛合、 吉田地区 (三刀屋健康福祉センター 4か月 13:00~、10か月 13:45~) 大 のびのび教室 (大東健康福祉センター 9:30~) 掛 さんさん教室 (入間公民館 9:30~)	12 妊婦・赤ちゃん相談 (三刀屋健康福祉センター 10:00~)	13 海潮温泉神代神楽の夕べ (古代鉄歌謡館 20:00~) 他 就職フェアしまね(冬期) (くにびきメッセ 13:00~16:00) 【問】ジョブカフェしまね ☎0852-28-0691
17 断酒会 (まめなかセンター 19:00~)	18 加 乳児健診 大東・加茂地区 (加茂健康福祉センター 4か月 13:00~、 10か月 13:45~)	19 マタニティスクール (木次健康福祉センター 10:00~) 掛 さわやか教室 (好老センター 10:00~) 大 献血 (飛田製粉製麵所 9:00~10:00、JA雲南 大東支店 10:30~11:30、九州住電装機島 根工場 12:20~13:10、フレッシュマート ふくま 14:30~15:20、Aコープ大東店 1 5:50~16:40) 大 年金相談 (大東総合センター 10:00~12:00、13:00 ~15:00) 年金手帳、年金証書、印鑑など を持参してください。【問】松江社会保 険事務所 ☎0852-26-2800	20
24 1 歳6ヶ月・3歳児健診 木次、 三刀屋、掛合、吉田地区 (木次健康福祉センター 受付1歳6ヶ月 13:00~、3歳 14:00~) 加 定期巡回児童相談 (かもてらす 10:00~16:00) 掛 さんさん教室 (掛合公民館 9:30~、波多公民館 9:30~)	25 雲南市民大学「たべものと環境 ~あなたの食材を考える」 (アスパル) 大 のびのび教室 (大東健康福祉センター 9:30~) 掛 さんさん教室 (入間公民館 9:30~)	26	27
第4回 Let's Cooking! 国際料理教室 ドイツ料理 日時：1月27日(土) 11:00~14:00 場所：かもてらす 参加費：800円 ●ドイツ系アメリカ人の国際交流員・ガブリエルさんといっしょに 家庭料理を作りましょう。			
31 1 歳6か月・3歳児健診 大東・ 加茂地区 (大東健康福祉センター 1歳6か月 13: 00~、3歳 14:00~) 他 再就職に向けての職業講習会 (出雲合同庁舎 10:00~16:00) 【問】(財)ふるさと島根定住財団 ☎0852- 28-1322	12/3 尾原ダム湖祭り 平成22年の完成に向け工事のすすむ「尾原 ダム」の建設地で尾原ダム湖祭り2006が開催 されました。 この日は、市内で初雪を観測するなど大変 冷え込みの厳しい1日となりましたが、タイ トレンジャーショーや地元特産品の即売会な ど多くの催しに、およそ700人が訪れました。		



大好評だった大型重機展示

ふるさとの 歳時記

しんじばな
神事華行列・べべの虫干し行列

(11月5日 掛合町多根地区) 多根公民館提供
掛合町多根地区の星原神社例祭で行われ
てきた神事華行列。べべ(晴れ着、着物)を虫
干ししながら練り歩きました。



本年も「市報うんなん」を
よろしく願います。新年
号を若干リニューアルして
あります。親しみやすい広報
づくりに励んでいきたいと思
います。みなさんからのご意見
や身近な話題などありましたら
情報政策課までお寄せくだ
さい。▼みなさんにとって平成18年はどんな年
でしたでしょうか？異常気象のためか「年初に
豪雪」、「7月に豪雨」と、記録的な自然災害に
見舞われた年でもありました。今年度内には災
害に強いまちづくりに向け「雲南市地域防災計
画」も策定予定となっています。▼さて、今年
の干支は、亥。イノシシを使った熟語に「猪突
猛進(むこう見ずに猛然と突き進むこと)」が
あります。時と場合にもよりますが、今年の干
支にちなんで、目標にまっしぐらと向かうこと
も必要ではないでしょうか。



編

集 後 記

季節ごよみ



冬の夜のイルミネーション

大東総合センター前 悠々広場のイルミネーションで
す。大東地区まちおこし協議会 夢ナリエ・ナイト 悠々
会(光谷唯視会長)により設置されたもので、12/25
までと12/31から1/3までの期間点灯しています。

・市報うんなんは、お近くの総合センターや公民館にもあります。
・市報うんなんに対するご意見、ご感想はこちらまで!

政策企画部 情報政策課

unnan-city@city.unnan.shimane.jp

人口 45,300人 男性・21,873人
世帯数 13,590世帯 女性・23,427人
(平成18年12月1日現在)